



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2009年6月No.325
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2008~2009)	
センテニアルクラブ会長	：『新たな感動を、再び』
東京セトリクラブ 会長	：『活躍しよう Be Active』
国際会長	：『希望の灯となろう』
アジア会長	：『希望の灯となろう』
西日本区理事	：『思いやりを持ってワイズライフを！』
中西部部長	：『喜びを共にし、苦しみを分かち合おう』

クラブ役員	Officers
会長	： 大村 肇
副会長	： 山中 秀男
書記	： 石津 雅人
会計	： 中村 幸枝
ネット会長	： 山村 利子
Y連絡職員	： 鍛治田 千文

これらのすべてのことは、同じ唯一の“霊”の働きであって、“霊”は望むままに、それを一人ひとりに分け与えてくださるのです。
 (コリント人への第一の手紙 12章 11節)

June Club Meeting 『評価・計画』

6 月 第 1 例 会

日時：2009年6月17日(水) 18:30~20:30
 場所：ホテルグランヴィア大阪
 司会：松浦 孝次 君

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 開会点鐘 | 大村 肇 会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 大村 肇 会長 |
| 4. 聖句朗読 | 山村 利子 君 |
| 5. 今月の強調活動 | 大村 肇 会長 |
| 6. 晩 餐 | 一 同 |
| 7. 卓話「天下人とカミ・ホトケ」 | 大田 荘一郎・甲南大、立命館大講師 |
| 8. お誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 9. 閉会点鐘 | 大村 肇 会長 |

6 月 第 2 例 会

日時：2009年6月24日(水) 18:30~20:00
 場所：大阪YMCA土佐堀会館4F

6月お誕生日：新保メネット(28日)

例会担当：3班：石津、隅田、谷川、中村隆、松浦
 の各メンと山村メネット

1年を振り返ってみて
 大村 肇

昨年の7月、会長に就任し、あと一ヵ月で1年になろうとしています。ワイズメンズクラブやYMCAの事があまり理解できていなく、クラブの皆様に、支えていただき、ようやくゴール出来そうです。クラブメンバーの方々には本当に感謝いたします。8月と12月に表コミの生徒さんとの交流会の実施、2月にはセンテニアル寄席を開催することができましたのも、メンバーをはじめ、メネットの皆様のご協力なくしては、成功しなかったと思います。「新たな感動を、再び」という会長標語を掲げ、いろんな課題を掲げました。しかし、一部しか達成できなかったのは残念です。今後継続して、会員の増強や、例会の充実、他クラブとの合同例会など次年度にお願いしたいと思えます。財政面では、黒字基調を維持できましたが、新たなファンドを考える必要性を痛感しました。この1年を振り返って反省することが多かったですが、私個人としては、少しワイズの事や、YMCAの事が理解できたことは、よかったですと思います。これから、自分自身がワイズ活動をどのように取り組むか、課題が少し見えたようにも思えます。この1年、皆さまのご協力ありがとうございます。

【クラブ統計 Statistics】

2009年5月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	10名	8名	5 月 110g 現 金 0円 切 手 累計：2,062g 現 金 累計：1,000円	5月： 12,000円 (オークション ： 24,300円) 累計： 208,450円
例会出席 12名	メネット	4名	2名		
うちメーキャップ 2名	ビジター	0名	0名		
	ゲ ス ト	2名	0名		
出席率 66.6%	合 計	16名	10名		

5月第2例会報告

日時：2009年5月24日（日）14:00～19:00
場所：山中邸（阪急桂駅）

出席者：大村、鍛治田、藤原、松浦、松浦メネット
山田、山中、山中メネット、山村メネット、三浦君

協議事項/今後の予定

- (1)西日本区大会
6月6日～7日 熊本で8名出席
- (2)今年度の決算及び次年度予算
6月第2例会で報告
- (3)8月納涼例会（8月19日）
なかのしまクラブと合同で開催する。
石津、坂本担当 内容は未定。

<キックオフミーティング報告>

第2例会終了後、引き続き次期に向けてキックオフミーティングを行った。

内 容

1 山中次期会長標語

“Onward Centennial again”

2 メールマガジン（センテニアル内の情報交換）の実施。

3 次年度年間例会担当者の決定と計画の発表をした。 流動的なところはあがるが、今後1年間の方向づけができて有意義だった。

4 例会以外の活動について

- *表コミとの交流（8月、12月）
- *次次期中西部長（松浦メン）の活動スケジュールについて（中西部会、新年会他）
- *2010年 第13回西日本区大会（広島で開催）
- *2010年8月 横浜国際大会



<ポットラックパーティ>17:00～19:00

山中邸の庭で、山中ご夫妻、参加メンバーの心尽しの料理で時間の過ぎるのを忘れるほど大変楽しいひと時を過ごさせていただきました。山中様ありがとうございました。

（三浦 直之）

5月31日はキリスト教の教会歴の聖霊降臨日でした。この日の祈りを書きます。

全能の神よ、この日あなたは、約束された精霊の降臨によって、すべての民族、国民に永遠の命の道を開かれました。どうか福音の宣教によって、この聖霊がますます世界に注がれ、地の果てまで広がりますように、聖霊の一致のうちに父と一体であり、世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン。

聖句選 コメント：山村利子

5月第1例会報告

日時：2009年5月20日（水）18:30～20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

新型インフルエンザが大阪と神戸で猛威をふるうなか、2人のゲストを迎え、16人が参加し例会を行いました。まずは鍛治田千文さんによる今月の強調月間LT(Leadership Training)の後、福永滋子メネットが聖句を朗読。

晩さん後、大村肇会長から、24日の「kick Off Meeting」の説明。

そして今月のメインスピーカーは畠中彬さんの紹介で、東大阪市野外活動センター所長の奥義博さんが「変わりつつあるキャンプの中身」という題で、実習を交えながら話をしてくれました。

奥さんの所属する大阪府青少年活動財団が進めているHRT（Human Relation Training）プログラムは学校や職場研修に取り入れられ、年間、40,000人が受講し、短時間でコミュニケーション能力を高める効果をあげているそうです。

今回はその一部をメンバーで体験。内容は、メンバーを二つのグループに分け、「ペーパープレゼント」ゲーム。まず一人ひとりさまざまな紙形が入った封筒を渡されるところから始まり、同じ形の図形をつくるため、紙形を交換し合いながら作っていくというもの。

ゲームを進める上で、無言で、指示することなく、プレッシャーを与えずに進めるという制約があり、

メンバーも四苦八苦しながらかつと完成。それぞれがコミュニケーションについて考えるよい機会でした。
（中村茂高）



卓話をされる奥義博さん

谷川 寛

今回の新型インフルエンザ (Swine flu) は、なぜメキシコで起きたのだろうか？ かつて駐在時代、幾度となくサンディエゴ経由でメキシコを訪れた。アメリカの国境を越えてティファナに入ると、途端にでこぼこ道でバラックの家々が目につき、アメリカとの落差を常に見せ付けられた。1980年、第二次石油危機が発生。メキシコは産油国として浮上した。さらに、アメリカとの自由貿易協定 (NAFTA) に参加し、米国向けに殆ど関税ゼロで輸出を図ることが可能となった。日本からも日産をはじめ多くの企業がメキシコに工場進出。高度成長を謳歌し、一時は先進国の仲間入りするかに見えた。しかし、86年には深刻な債務危機に直面、苦境を経験する。その後、日本を含めて世界中の国々と自由貿易協定を結び、グローバル経済の拠点となった。2002年、世界 YMCA 同盟の国際大会が、メキシコシティの郊外で開かれた。メキシコで行われたオリンピックの選手村を利用した大会であった。メキシコをじっくり観察するよい機会となった。大きく変わったこの国であいかわらず変わらなかったのは、やはり貧富の格差だろう。首都メキシコシティの豪華な住宅街、並び立つ超一流ホテル。先進国の仲間入りした印象をもった。しかし、一步、街を出ると、丘の頂上まで張り付く貧しい人々のお粗末な家々。水道水の質が悪く、歯磨きも有料水を使った。YMCA 国際大会でメキシコの多くの若者がボランティアとして働いてくれた。大学を出てまだ職のない女子学生は、英語にプラス、日本語を勉強しているという。この国では大学を出ても、仕事がないので、いずれはアメリカに行きたいという。しかし、それも簡単ではない。日本語が話せたら、日本で働く機会はあるか、と尋ねられた。メキシコ製日産の車、“TSURU” (鶴) を知っているか？ あれは、コンパクトでアメリカ車より優れている、と彼女は言っていた。日本でのサニーを現地ではそう名づけている。その後、音信不通になったが、彼女は今どうしているだろう？ アメリカ行きが実現したのだろうか？ 今回の新型インフルエンザと”メキシコの貧困”との結びつけて考えるのは失礼かもしれないが、感染拡大の背景に貧困があったように思えてならない。

5 月 BF ニュース

○切手提供者
山田、松浦、福永 君

計 110g

○今月の殊勲賞
山田君 50g



■早天祈禱会

日時 6月19日(金) 7:30~8:30

証し 谷川俊一氏 (協力会員)

■会員大会(5/30)で下記が承認されました。

2009年度

【大阪YMCA基本方針】

「新たなつながりをもち、人の輪をひろげよう」

【年間聖句】

「受けるよりは与える方が幸いである」

(新共同訳：使徒言行録 20 章 35 節)

【年間讃美歌】

讃美歌 312番「いつくしみ深き」

常議員には土佐堀YMCAからリーダー出身者の丹吾礼 (たんごあや) さんが信任を受けました。20代の若い委員誕生です。50年以上継続会員として、センテニアルワイズからは田中穰二さんのお名前が呼ばれました。永年のご継続に感謝とこれからもよろしくお願ひします。

Tel.06 (6441) 1123 Fax...06(6443) 7544

≡≡≡ Club Activities (May, 2009) ≡≡≡

1. Regular Monthly Meeting

On May 20, the club's May meeting was held at the Hotel Granvia Osaka. Although new strain of influenza continued to spread mostly around Kobe and Osaka area, a total of 16 Y's men, Y's menettes and guests attended the meeting.

With its emphasis on "Leadership Training" this month,

Ms. CHIFUMI KAJITA, our club member and liaison officer of the Osaka YMCA briefed the purposes and meanings of this program.

The highlight of the meeting was a speech made by Mr. YOSHIHIRO OKU, manager of the Higashi-Osaka Outdoors Activity Center. Asking all the attendees to participate in a sort of game, he told the effectiveness of the Human Relations Training Program he advocated.

Yen 12,000 was collected from the attendees for our club's Niko-Niko (smiling) fund.

2. Kick-off Meeting

On May 24, our Kick-off Meeting for the new fiscal year was held at the traditional Japanese style home of our incoming president, Mr. & Mrs. HIDEO & CHIAKI YAMANAKA in Kyoto.

Following the usual executive meeting, a total of 11Y's men and Y's menettes gathered thoroughly discussed various positive proposals made by incoming president.

Through the discussion, all attendees convinced that our club would be revitalized in next year under the new President's slogan, "Onward Centennial, again!"

Potluck party was held, following the Kick-off meeting, in the garden of Mr. Yamanaka's home and we could very much enjoy a variety of meals until late evening.

☺ ニコニコ・メッセージ ☺
【Messages from the Club Members】

ゲストからのメッセージ

○楽しい時間を過ごさせて頂きました。たくさんの方とお話が出来奥さんの貴重なお話も何う事が出来、また新しい気付きのあった時間でした。ありがとうございました。(関西テレビ青少年育成事業団 坂本 真由美)

会員からのメッセージ

○2年振りに西日本区大会に出席しました。熊本は初めてで楽しい大会出席になりました。(石津 雅人)

○新型インフルエンザが大阪、神戸を中心に広がっていますが、何とか例会を持つ事が出来て良かった。

(大村 肇)

○お話を聞いて私たちがYMCAでしていることと重なる事も多く楽しさもその意義を感じることが出来ました。

(鍛治田 千文)

○インフルエンザで毎日忙しくしております。マスクはこの秋に売れる様に手配したいと考えております。

(坂本 哲朗)

○「ペーパープレゼント」は最初何が何やら訳が分かりませんでしたがプレゼントして他の人の完成を助けると教えていただき納得できました。楽しかったです。

(隅田 恵子)

○街から子供たちが消えてまるでSFの世界です。マスク大助かりです。

(中村 幸枝)

○奥さんのハートアクティビティ今の時代子供から大人から、とても大事なコミュニケーションプログラムでした。

(中村 茂高)

○新型インフルエンザなんのその！と例会を持つ事が出来て結構ご同慶の至りです。コミュニケーションの活用の数々を学ぶ事が意義あるものと気づきました。

多謝。(福永 嘉彦・滋子)

○奥所長から「ハートアクティビティ」のお話を聞き一部を体験して、人間関係づくりを体験できるプログラムがある事を知りました。今の時代にかなうものですね。

(松浦 孝次)

○鳥インフルエンザに適切に対処するにはハードなもの以外に性格、豊富な情報もそれ以上に大事だと痛感しました。

(三浦 直之)

○新型インフルエンザの感染騒ぎの真中(神戸市灘区)に居住していて自分だけが安全であることにかえて落ち着かない日を送っていました。今夜ここで心が落ち着く一時でした。

(山田 孝彦)

○娘や息子が小学生の時の能勢野外センターで1泊2日でお世話になりました。今は大学生、社会人がこのプログラムに参加する事で人間関係が出来ないという現代社会に問題があるように思います。

(山村 利子)



第12回 西日本区大会【熊本】

2009年6月6日(土)~7日(日)

熊本高校オーケストラの演奏で開会されました



パナーセレモニーでの大村肇会長 →



← 熊本城
水前寺公園



次月で大会の報告を致します。

◆ ◆ ◆ 後 記 ◆ ◆ ◆

「がんばらなくていい」の著者で、諏訪中央病院の名誉院長・鎌田実さんの講演会の後、サインをもらって買った一冊の本「いいかげんがいい」という本を読んだら、人気俳優・木村拓哉さんのことが書いてありました。鎌田さんが、NHKの紅白歌合戦の審査員をした時に、キムタクとすれ違った時、きちんと挨拶をしたので、「ただの俳優ではないのだな」という好印象をもったようです。さらに彼の主演映画「武士の一分」を見て、彼の演技力に舌をまいたそうです。病院で、「キムタクはカッコいい」という話をしたら、「キムタクもカッコいいけど、弟もアメフトのスーパースターでカッコいい」という看護師の話を聞いて、この二人を育てた母親はいったいどんな人だろう、ぜひ会いたいものと思ったそうです。鎌田さんは担当しているNHKのラジオ番組で、キムタクのお母さんと呼んだそうですが、やはり素晴らしい人で、二人の息子の子育ての仕方、大変細やかな愛情をもって育てている様子がうかがえたそうです。鎌田さんは、当り前のことを当り前のしつけをしながら、誰からも愛され、カッコいい息子たちを育てるヒントをこのお母さんから学んだと語っていました。

そんなお母さんに私もぜひ会ってみたいと思っていたら、偶然にも先日電話で話す機会がありました。もちろん礼儀正しい、鎌田さんの言うように、すてきなお母さんでした。新ドラマ、映画でも活躍中のキムタクが私にとってずいぶん身近になりました。

(中村 茂高)